

# お知らせします

# 区の財政状況

## 安心して暮らすことができる 活力あるまちの実現に向けて

目黒区長 青木英二



令和元年度は「安全・安心を守り支え、未来につなげる予算」と位置付け、4つの重要課題に積極的に取り組みました。1つ目は「安全・安心なまちづくり」で、災害時要配慮者への支援の充実、特殊詐欺被害の防止対策、ブロック塀等の除却の促進などを行いました。2つ目は「子育て支援の充実と教育の振興」で、保育園の待機児童対策を進め、今年4月に待機児童ゼロを達成しました。また、児童館・学童保育クラブの充実、区立小・中学校全校への教員をサポートするスタッフの配置などを実施しました。3つ目は「福祉の充実と健康づくりの推進」で、特別養護老人ホームの整備支援や受動喫煙防止対策などを進めました。4つ目は「良好で快適な環境と活力あるまちづくり」で、町会会館の整備助成などのコミュニティ施策の推進や電動アシスト自転車を有料で貸し出

す自転車シェアリング事業の実証実験などを実施しました。歳入は、平成30年度と比べ、特別区税と特別区交付金の増などにより、90億円増えました。経常収支比率は、区の歳入のうち新しい事業や臨時の事業に使えるお金がどの程度あるかを測る指標で、4年ぶりに適正範囲となりました。元年度末の積立基金（貯金）残高は、平成30年度末の425億円から493億円に増えました。一方、特別区債（借金）残高は148億円から139億円に減りました。平成27年度から貯金が借金を上回っていますが、23区で見れば貯金が少ない方となっています。今後目を向けると、ふるさと納税などの国の不合理な税制改正により、本来、区に入るはずの歳入が地方に流出し、さらに新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気悪化によって大幅な歳入減が懸念されます。一方で、社会保障費などの歳出は増加していくことが予想されます。引き続き新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組むとともに、将来にわたって多種多様な課題に適切に対応していくため、安定的な財政基盤の確保に努め、区長として区政の先頭に立ち、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」づくりに、全力で取り組んでまいります。

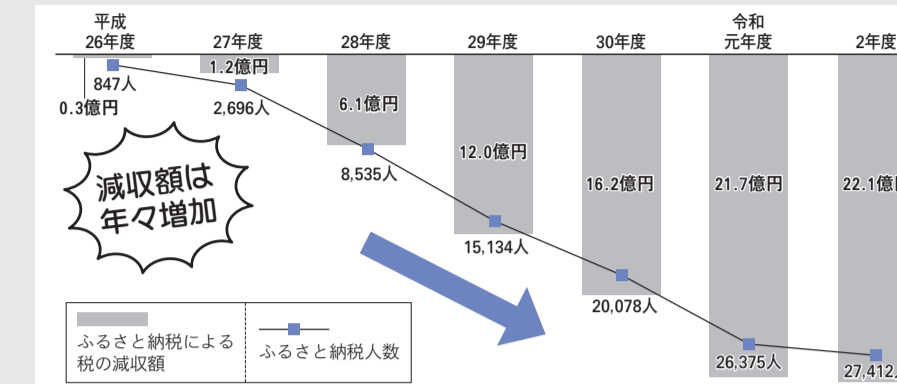
区の財政状況の公表に関する条例に基づき、毎年5月と11月に財政状況を公表しています。今回は、「元年度決算のあらまし」「2年度上期の補正予算と執行状況」についてお知らせします。詳細はホームページ（右コード）でご覧になれます。



図財政課（☎5722-9137、📠5722-9331）

## ふるさと納税による 区の減収が 深刻化しています

22億円の  
減収！



ふるさと納税は、応援したい自治体に寄附できる制度です。その趣旨には賛同しますが、区民の皆さんが区外へふるさと納税をすると、その分、区の収入が減る仕組みです。ふるさと納税による減収額は毎年増え続け、2年度は約22億円が減収となる見込みです。6年間で約70倍に拡大しており、区の財政に大きな負担となっています。

## 2年度上期の補正予算と執行状況

### 2年度補正予算

一般会計（第1・2・3号）、  
国民健康保険特別会計（第1・2号）、  
後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計（第1号）

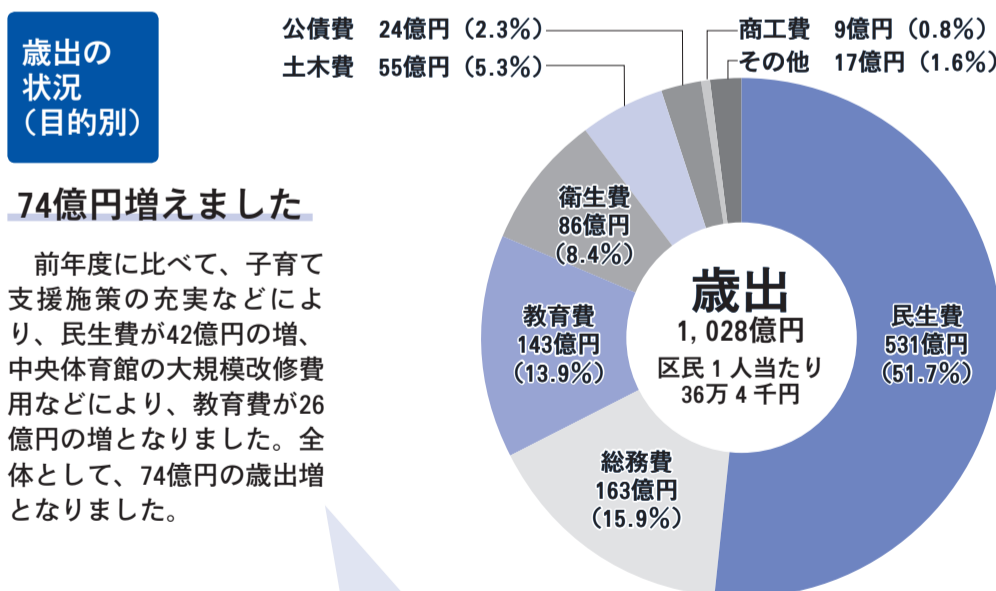
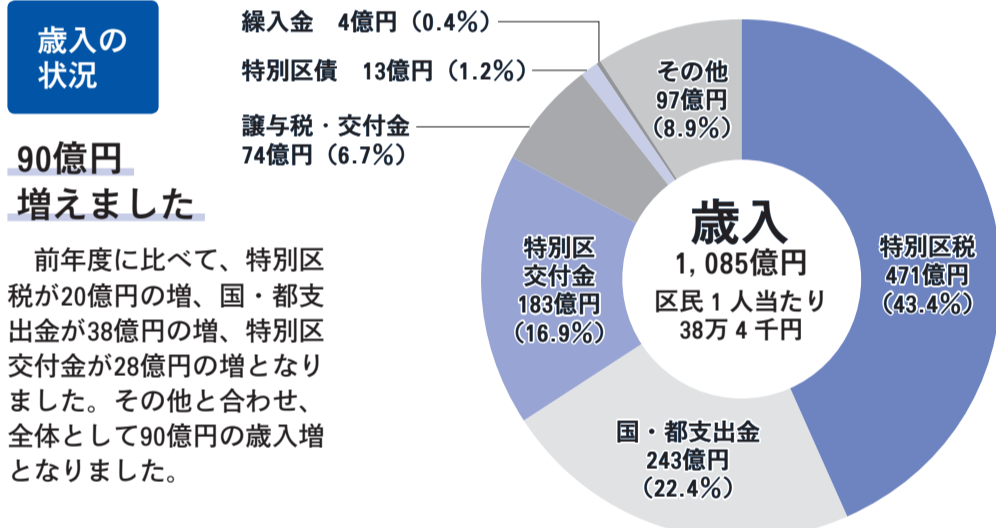
新型コロナウイルス感染症対策を中心に、緊急課題などの経費について予算計上しました。また、社会経済状況の変動などに備えるために、財政調整基金などの区の貯金に積立を行いました。

## 元年度決算のあらまし

※数値は項目ごとに四捨五入しているため、合計額などと一致しない場合があります

### ●普通会計歳入歳出の状況

※住民数は、282,628人（2年4/1現在）で計算



▲元年度中に、区有施設の空きスペースを活用した目黒三田保育園キミミライを開設したほか、15カ所の保育園を整備しました

▲自転車シェアリング事業のサイクルポート。電動アシスト自転車で区内や周辺区に行き来することができます

▼大規模改修工事を行った中央体育館。区民の誰もが、多様なスポーツ・レクリエーションに親しむことができます

### ●財政指標から見る財政状況

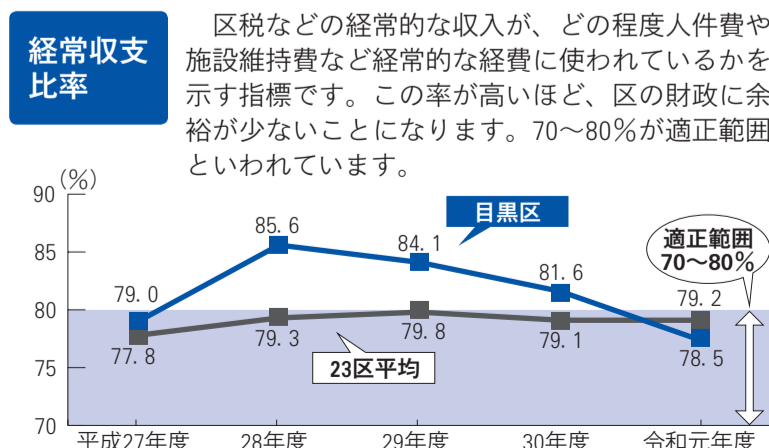
区財政の健全化判断比率は、すべての指標において健全な状況です。また、財政構造の硬直化度を表す経常収支比率は、適正範囲となりました。しかし、これらによって財政状況に問題がないとはいえ、引き続きさまざまな指標を用いて状況を分析し、安定的な財政運営に向けた取り組みを行っていきます。

#### 財政健全化法に基づく健全化判断比率

【 】の数値を上回るものが1つでもあると、早期健全化に向けた対応が必要となります。

健全化判断比率【早期健全化基準】	目黒区	23区
①実質赤字比率【11.25%以上】	黒字のため非該当	全区黒字のため非該当
②連結実質赤字比率【16.25%以上】	黒字のため非該当	全区黒字のため非該当
③実質公債費比率【25%以上】	▲4.0%	平均▲3.5%
④将来負担比率【350%以上】	マイナスのため非該当	全区マイナスのため非該当

- ①実質赤字比率  
一般会計などの実質的な赤字が、標準財政規模（使い道の制約されない区の平均的な年間収入）に対してどの程度かを示す指標
- ②連結実質赤字比率  
実質赤字比率の範囲を特別会計にまで広げて算定した指標
- ③実質公債費比率  
借入金の実質的な年間返済額が、標準財政規模に対してどの程度かを示す指標（3カ年平均を算定結果とする）
- ④将来負担比率  
将来的に区が支払う負担見込額が、標準財政規模に対してどの程度かを示す指標



### 歳出の 主な 補正内容

- 〈新型コロナウイルス感染症対策〉
  - 特別定額給付金
  - 目黒区ひとり親家庭等生活応援給付金
  - 新型コロナウイルス対策緊急融資
- PCR検査体制の拡充
- めぐろ地元のお店応援券の発行
- 区立小・中学校における児童・生徒1人1台の情報端末整備
- 〈その他〉
  - 障害福祉サービスなどの給付費
  - 小学校内学童保育クラブの整備

#### 補正後の各会計予算額と執行状況

区分	予算額		収入済額		収入率
	当初	補正	支出済額	執行率	
一般会計	1071.2	368.3	1439.5	845.9	58.8%
国民健康保険特別会計	251.4	2.3	253.7	97.8	38.6%
後期高齢者医療特別会計	68.3	1.0	69.3	25.9	37.4%
介護保険特別会計	211.0	3.2	214.2	94.0	43.9%

#### 特別区民税の負担状況

区分	金額 (億円)
総額	438
1世帯当たり	275,315円
1人当たり	155,171円

#### 特別区債の状況

特別区債現在高	金額 (億円)	一般会計
特別区債現在高	155	一般会計

#### 一時借入金の状況

一時借入れは行っていません
---------------

#### 区有財産の状況

区分	現在高	備考
土地	817,232㎡	
建物	526,795㎡	
物権	0件	
出資による権利	8億円	芸術文化振興財団などへの出資金
物品	49億円	取得金額1件50万円以上のもの
債権	1億円	奨学資金などの貸付金
基金	481億円	積立基金と公共料金支払基金などの運用基金

※いずれも2年9/30現在（出資による権利、物品、債権は2年3/31現在）

## 都市型軽費老人ホームの 入所者を募集します

図高齢福祉課高齢者支援係（☎5722-9352、📠5722-9474）

都市型軽費老人ホームは、低額な費用で、食事や生活相談などのサービスを受けながら、自立した生活を送ることができる施設です。施設についての詳細は、運営事業者（特別養護老人ホームいずみえん）へお問い合わせください。入所者は、入所判定会議（3年3月）で決定し、施設から連絡します。

**対象** 区に住居登録があり、区内に3カ月以上在住する、在宅生活が困難な60歳以上のかた

**定員** 20人

**費用** 月額10万円程度（居住費、食費、水道光熱費）  
※収入に応じて月額1万～14万3,600円のサービス提供料が別途必要

**申し込み方法** 申込書（総合庁舎本館2階高齢福祉課で配布。ホームページ〈右コード〉から印刷可）を、12/28までに、高齢福祉課へ持参



※施設の受け入れ体制により、開設当初に入所できない場合があります



◀こぶしえん（仮称）の完成イメージ

**名称** 都市型軽費老人ホーム こぶしえん（仮称）  
**所在地** 下目黒6-18（第四中学校跡地）  
**開設時期** 3年4月（予定）  
**運営事業者** 社会福祉法人徳心会

**図特別養護老人ホームいずみえん**  
（☎5722-5550）

